

保存版

ロープワーク 2

いざという時のために
身につけておきましょう

名称 **ねじ結び** / Timber hitch

別名：「立ち木結び」「より結び」

英名：「ティンバー・ヒッチ」

用途 ロープの端を杭や丸太に結びつける時に使うふた結びより強度は強い

備考 引きひもに力が掛かっている時は締まり、緩めると簡単に解ける
ロープをねじ込む方向に注意滑りやすいロープには不向き



名称 **引きとけ結び** / Slip knot

別名：「すごき結び」「片結び」

英名：「スリップ・ノット」

用途 輪の大きさを変えられる結び強度が弱いので力のかかる用途には適さない

備考 名前の通り、結びを解くのも簡単



名称 **ひとえつぎ** / Sheet bend

別名：「帆網結び」「はた結び」

英名：「シート・ベンド」「シングル・シート・ベンド」

用途 太さ、材質の異なるロープを結ぶ時に使う

備考 細い方のロープの端を引きとけにすると解きやすい



名称 **巻き結び** / Clove hitch

別名：「舟子結び」「徳利結び」「インキ結び」

英名：「クローブ・ヒッチ」

用途 柱や木材を縛り合わせる時の始端や終端に使う棒やカラビナなど輪を通すことができるものは、あらかじめ輪を作ることです
早く結ぶことができるロープのどちらか一方に力が加わると回ったり、緩んだりする



名称 **てぐす結び** / Fisherman's knot
別名：「相引き結び」
英名：「フィッシャーマンズ・ノット」「アングラーズ・ノット」
用途 釣り糸（テグス）の様な細く滑りやすいロープをつなぎ合わせる結び太さの異なるロープでもしっかり結べる短い両端を引けば、解きやすい結びでもある
備考 フィッシング用のテグスは摩擦熱に弱いので、ゆっくりと引き締める



名称 **よろい結び** / Man harness knot
別名：「砲兵結び」
英名：「マン・ハーネス・ノット」
用途 ロープの中間に決まった大きさの輪を作る結び軽いものをかけたり、太いロープで輪を作りものを引く時に使う
備考 強い力が掛かると結び目が解けてしまうことがある



名称 **馬つなぎ** / Hitching tie
別名：「追いはぎ結び」
英名：「ヒッチング・タイ」「ハイウェイマンズ・ノット」「テキサス・ボーライン」
用途 馬を柱や横木につなぎ止める時に使う結び
備考 この結びの最後を引き解けにすれば、すぐに解くことができる（解いて逃げるので、「追いはぎ結び」と言われる所以）



名称 **腰かけ結び** / Chair knot
英名：「チェアー・ノット」「ボーライン・オン・ア・バイト」
用途 負傷者の救出や、腰掛けて作業する時に用いる
備考 2つの輪は大きさに差をつけておくと使いやすい



名称 **トートライン・ヒッチ** / Tautline hitch
別名：「張り綱結び」「自在結び」
英名：「トートライン・ヒッチ」
用途 テントなどの張り綱の長さを調整できる結び
備考 結びつける柱の根元で一度ひと結びをするやり方もある



名称 **てこ結び** / Lever hitch
英名：「マリンスパイク・ヒッチ」「ポート・ノット」
用途 ロープをしっかり張るために一時的に杭などに結びつける縄ばしごの横棒を止める時などに使う
備考 金槌などを高いところに釣り上げたりする時などにも応用できる



※掲載のロープワークはボーイスカウト活動で主に使われているものです。
文章、イラスト等はPolar☆ster様blogを参考にさせていただきました。